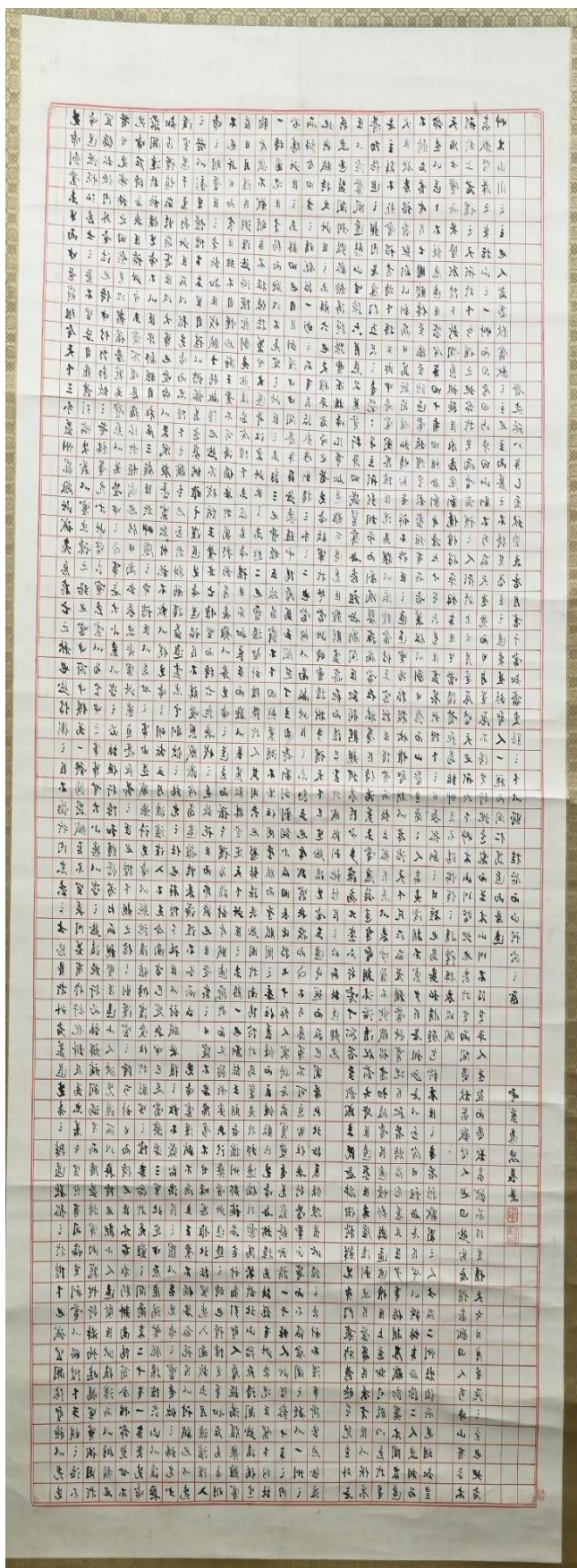


2025年12月の資料紹介



すいしのひょうじんどうろん 出師表人道論 (重要文化財)

高野長英著

すいしのひょう
出師表とは、軍隊を出すこと
を申し上げる表という意味で、
三国時代の蜀漢の丞相・
諸葛孔明が、魏討伐の出陣前に
後主・劉禅にたてまつたもの
です。

内容は先帝・劉備への深い恩
義への感謝、劉禅へ臣下の忠諫
をよく聞くべきと諭し、そして
魏を討伐して漢室を復興する
という自身の決意と覚悟がつづら
れています。

蜀の国力が疲弊している現状
を認識しつつ、先帝の遺志を継
ぎ、忠誠を尽くす孔明の至誠が
表れた名文です。

涙ながらに書いた孔明のこの
精神は、読む人の心に強く焼き
付けられました。長英も同様に
心を打たれ同文を書いたものと
思われます。

【参考】

- ・『古文真宝後集』卷之八 p.344
- ・ Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/>